

平成30年度第1回「恵庭市史編さん委員会」会議録

日 時：平成30年6月29日（金） 15：00～15：50

場 所：市役所（3階）301、302会議室

出席者：＜委 員＞ 北越会長、山田副会長、江里口委員、曾根委員、中泉委員、
平中委員、山口委員、村上委員
（欠席者）高橋委員、宮田委員

＜事務局＞ 浅香企画振興部長、大槻企画振興部次長、
渡辺広報課長、高橋市史担当主査、山田非常勤

＜委託事業者＞ 対馬、村上、佐藤、大江

傍聴者：なし

1. 開 会

2. 会長挨拶（要旨）

編さん作業も残すところ2年あまりとなった。委員の皆様には原稿の校正についてかなりボリュームのある作業だが、宜しく願いたい。また、事業受託者には精力的な原稿の執筆を願う。そして平成32年9月には市史の完成を迎えたい。

本日の議題は「平成29年度事業報告」及び「平成30年度事業計画（案）」の審議、また「地形・地質」と、福祉・保健医療のうち「保健」を除く全ての原稿の内容確認である。これらについて意見をいただきたい。

※議事に入る前に、大槻次長より高橋委員、宮田委員の欠席を報告。

3. 報告事項

北越会長が議長となり、議事を開始。

(1). 報告事項 平成29年度事業報告について

- ①. 編さん委員会の開催
- ②. 市史編さん事務の推進
- ③. 市民の理解と協力の取り組み

以上について、事務局より資料に基づき説明があり、一同承認。

4. 協議事項

(1). 平成30年度事業計画（案）について

- ①. 編さん委員会の開催
- ②. 市史編さん事務の推進
- ③. 市民の理解と協力の取り組み

以上について、事務局より資料に基づき説明。これに対し委員より、今年度計画の原稿校正量に比し、計画された委員会の回数が少ないのではないか」という意見があり、会長より場合によっては委員会の回数を増やすことも検討したい旨を回答。また事務局より、校正原稿の送付は従来の委員会に合わせてではなく、庁内校正終了後、順次送付したい旨を回答し、一同、承認。

(2). 市史原稿の確認

事務局より校正の追加、会議の進め方を説明し、章毎に確認。校正事項は次のとおり。

①. 第1編「自然・地勢」第3章「地形・地質」

■文章が長く、途中、句読点入れるべきところを精査すること。

②. 第7編「福祉と保健医療」第1章「福祉行政」

■誤字脱字・文言の修正……P2「無障」の「障」を「償」に改める。

■元号を省略する場合の考え方を統一し、市史全体について取扱いの統一を図ること。

■新元号への対応を協議し、市史全体について取扱いの統一を図ること。

③. 第7編「福祉と保健医療」第2章「社会福祉」

■誤字脱字・文言の修正……P9「中学卒業の子弟」を「中学卒業までの子弟」に修正し、P34「財政健全化対策の一環」の「の一環」を削除、「平成二十一年に八十歳、九十歳を廃止し、」を削除。

■団体の会長が、平成30年度に交代した場合に対応すること。

■市史としての「読みやすさ」に配慮し、計画・プラン名、事業概要等をどこまで正確に記すべきかを原課と協議し、今後も一定のルールで統一すること。

■団体の略称は、団体の正式名称（略称）を示してから、略称を用いるよう整理・統一すること。

④. 第7編「福祉と保健医療」第3章「社会保険制度」……指摘なし

⑤. 第7編「福祉と保健医療」第5章「医療」……指摘なし

⑥. 全体を通して

■委員より、「障がい」と「障害」の表記について疑義があり、協議の結果、国、市などで表記の違いはあるが、市史では7編2章の『「障がい」の表記』の考え方に沿って使い分けることを確認した。

(3). その他

会長より事務局に対し、本日の指摘事項について事務局で整理し、次回委員会で取り扱いを報告すること、また会議の持ち方は校正原稿のボリュームに合わせて回数を考え、早めの原稿送付、会議日程調整を行うよう指示があった。

5. その他

6. 閉 会